

ぼうさい通信 (第1号)

令和4年6月1日(水)
岐阜清流高等特別支援学校
保健安全部 No.1

今年も引き続き、防災について新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策を、考えていかななくてはなりません。新しい生活様式に合わせた持続可能な防災について、この通信を題材に家庭で話し合う機会にしてください。

〇6月～10月は大雨や洪水、台風に注意しましょう！

毎年、日本では豪雨や台風による被害が起きています。昨年(令和3年)7月には静岡県熱海市で大規模な土砂災害が発生し、ニュースなどで一瞬にして土砂が山から流れ落ちてくる映像を見て恐怖を感じた人も多かったと思います。また、岐阜県では一昨年(令和2年)の7月豪雨で飛騨川を中心とする河川の氾濫や土砂災害、浸水被害が発生し、下呂市などの被災現場ではコロナ禍における災害対応が課題になりました。



(令和3年7月 熱海市)



(令和2年7月 下呂市)



(令和2年7月 瑞浪市)

近年の災害は激甚化するケースが多く、想定をはるかに超える雨量や洪水の発生、台風の進路が今までのルートと違うなど、これまでの防災の考え方では、自分達の命を守ることが危うくなっています。

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。急な災害に対応できるように防災意識のアンテナを高く張って、常に命を守る準備と行動ができるようにしておく必要があります。

〇非常変災時対応訓練を終えて

5月16日(月)に、非常変災時対応訓練を行いました。今回は「大雨注意報が発令され、今後さらに雨風が強まり警報に切り替わる」ことを想定し、帰りの SHR 前に緊急放送で速やかに下校するよう指示がありました。

訓練の目的や意義を理解し、緊張感を持って行動することはできましたか？

例えば ① 下校途中で電線が切れて垂れ下がっていたら、どうしますか？

② 毎日の通学経路脇にある用水路が溢れて水が氾濫していたら、どうするとよいですか？

③ 突然竜巻が起こったら、どのように身体を守りますか？

今一度、非常変災時にどのような行動をとるべきかを一人一人が考えておきましょう。

【保護者の皆さまへ】

今回の訓練では電話による帰宅連絡は100%でしたが、すぐメールのアンケート回答率は約60%でした。

非常変災時には電話やメールが不通になる可能性があります。生徒の安全確認を最優先するため、本校では電話とメールの両方で帰宅確認を行うようにしています。ご理解とご協力をお願いします。